



会長交代に伴い、原前会長に伊藤副会長より花束の贈呈をさせていただきました。

目次・主な内容

■ Top News	2
■ 三重経協 News	4
■ 暑中見舞い	15
■ 三重労働局 News	21

■ お知らせ	22
■ れんらく・つうしん	23
■ 業務日誌	24



小倉新会長就任挨拶

三重交通グループホールディングス株式会社

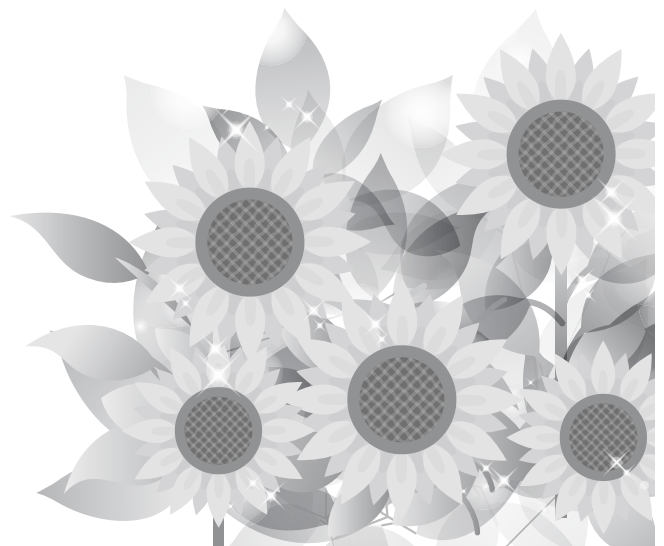
代表取締役会長 小倉 敏 秀

この度、6月13日付けで三重県経営者協会の会長に就任させていただきました。3年ぶりの会長職となりますが、この間、新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけに世の中にニューノーマルが浸透するとともに価値観の多様化が進みました。このことは企業経営にも多大な影響を与え、人々の労働に対する意識も変わり、ワークライフバランスを重視する働き方改革が加速する一方で、コロナ禍からの社会の正常化に伴い、人手不足も深刻さを増しています。また、安定的かつ持続的な成長を実現するために労働生産性の向上は不可欠で、政府が進める労働市場改革への対応やDX、GXの推進など、ますます企業経営の課題が複雑化しているのではないかと感じております。

このような状況の中、当協会は地域に密着した総合経済団体として「地域への貢献」、「会員サービスの充実」、「関係諸団体との連携強化」を活動の3本柱として推進し、三重県にとって存在感のある経営者協会になるよう努めてまいりたいと思います。また、労働問題、労務管理、労使関係の専門機関として特に「障がい者雇用の推進」、「女性活躍推進」、「若年者雇用対策」を重視し、「ダイバーシティ経営」の推進を図ります。そして、連合三重と協働で設立しております「三重労使雇用支援機構」、「三重労使会議」、「労使協働事業」等を労使一丸となって継続的に推進し、会員企業

の発展と健全な労使関係を構築してまいりたいと思います。そのほか、「使用者団体」として、公設の各種審議会、委員会、協議会への使用側委員を推薦し、労働行政（国・三重県）に対し、使用者側の立場としての意見・要望・提言を行い、総合経済団体としての活動を積極的に進めて参りたいと思います。

最後になりますが、当協会並びに会員企業の皆様方の期待に添えるよう尽力してまいりますので、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



原会長退任挨拶

近畿日本鉄道株式会社

代表取締役社長 原 恭



令和5年度会員総会をもちまして、会長の職を退任させていただきました。令和2年6月に就任して3年という短い期間ではありましたが、副会長をはじめとする役員の方々や会員の皆様のご支援、ご協力のおかげを持ちまして、滞りなく職務を全うすることができました。

在任期間を振り返りますと、就任時がコロナの感染拡大時期と重なり、感染拡大防止策や国、県からの企業支援策、また世の中に浸透していく新しい生活様式への対応につきまして会員企業の皆様への情報発信に尽力しました。

また、働き方改革に関する制度変更や最低賃金の大幅な引き上げ、ダイバーシティの推進などの人事、労務関連に加え、企業にサステナビリティやDXなどへの対応が迫られる中、感染拡大防止の観点からEメールでの情報発信を強化し、WEBセミナーの実施やリモートでの会議開催など前例にとらわれず工夫を凝らし活動しました。

そして、会員企業の皆様に研修等で活用していただくためのビデオやDVDの貸出を行っていた事業を発展的解消し、インターネット経由でオンデマンド配信する「三重経協ビデオアーカイブス(MVA)」を令和5年7月からの開始を目指して準備を進めました。今後、最新の情報を会員企業の皆様のご都合に合わせてご利用いただくことが可能となります。

その他、「三重労使雇用支援機構」をはじめとす

る労使協働事業や公設の各種審議会等への使用側委員の推薦などの活動をあわせまして、当協会の組織強化、総合経済団体としての存在感を高めることに努めました。

3年前の会長就任挨拶で「コロナ禍を改革にチャレンジするチャンスと捉える」という旨を申し上げましたが、急速に進化するデジタル技術など新しい技術の活用、また既存の方法を組み合わせるなどの工夫を継続し、小倉会長のもと会員サービスの充実に繋げてもらいたいと思っています。

結びに会長在任中の皆様方の温かいご支援・ご協力に改めて御礼申し上げますとともに、今後の三重県経営者協会の益々の発展と会員企業の皆様のご隆盛を祈念し、退任の挨拶とさせていただきます。



4月度理事会

4月21日（金）プラザ洞津「高砂の間」において、理事会及び特別講演会を開催し、理事会29名、講演会52名の出席者でした。



挨拶する原会長

1. 会長挨拶要旨

本日は年度始めの何かとご多用のところ、理事の皆様方には多数ご出席いただき、誠にありがとうございます。また、平素から当協会の事業運営につきまして、格別のご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症に関連しまして先月13日から「マスク着用ルール」が緩和され、周囲の方に感染を広げないことを前提に個人の判断でマスクを着用することとなりました。そして5月8日からは感染症法の類型で現在の2類から季節性インフルエンザと同じ5類に移行されることから、社会経済活動の正常化が一段と進むことが見込まれています。しかし、足元では円安や資源高は一服したとの見方もあるものの依然として物価は高い水準にあり、国民の生活を圧迫しています。

このような背景の中、現在行われております春季労使交渉では、現政権が掲げる「成長と分配の好循環」の実現に向けた社会的期待が高まる中、物価上昇に伴う従業員の生活への配慮などもあり、大手企業を中心に、組合要求通り、もしくはそれに近い結果となっております。

このような状況の中、日本の労働者の7割を占める中小企業ではこれから交渉が始まります。中小企業は大企業に比べ経営基盤が脆弱であり、昨今の原材料高、エネルギー価格高騰は経営に大きな影響を与えています。支払い能力を超える賃金引上げは企業経営に深刻な影響を及ぼす問題となります。「賃金決定の大原則」と同時に「事業継続と雇用維持」を最優先にしながら、「賃上げ」と同等に「総合的な処遇改善・人材育成」について自社の実情にかなった対応を労使協議で深めてほしいと思います。

さて、本日の理事会では、役員候補者の選任につきまして、2021年にご就任いただいた役員の任期（2年）が本年6月で満了となることから、2023年6月から2025年6月までの2年を任期とする役員候補者の選任をいただくものであります。



理事会風景

令和4年度の活動は、昨年度に比べて社会経済活動が徐々に再開される中、感染対策を講じながら予定しておりました事業を実施することができました。そして、令和5年度につきましては、新たな取り組みとして、階層別研修や労務問題など日頃の事業遂行に密接に関連する約1,200本の動画をオンデマンドで会員企業の皆様方に無料配信する事業、「三重経協ビデオアーカイブス」（MVA）を計画しています。その他におきましても有益な情報を提供できるように様々な手法を用い、工夫しながら進めてまいりたいと考えております。

なお、本日の議事につきましては、ご審議いただきご承認賜りましたら、令和4年度決算が確定後に会長副会長会議にて承認のうえ、6月の会員総会に付議したいと考えております。

また、本日は理事会終了後に三重テレビ放送株式会社のアナウンサー 北村 実穂さんをお招きし、「『ママアナウンサーになって』～妊娠、出産、育児の奮闘記～」と題しての特別講演会を予定しております。この4月より改正育児・介護休業法が改正され1,000人を超える企業には、育児休業取得の状況を年1回公表することが義務付けられました。少子化対策やダイバーシティ等の観点から、ますます仕事と育児の両立が重要となる中、本日の講演をこれからの経営の参考にさせていただけたらと思います。

最後に毎年お願いしておりますが、当協会の基盤強化には会員の拡大が不可欠であります。理事の皆様方には引き続き、新規会員のご推薦ご紹介を賜りますよう、この場をお借りしてお願い申し上げます。

今後とも皆様方の心強いご支援、ご協力をお願い申し上げます。はなはだ簡単ではございますが開会のご挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いたします。

2. 報告事項

・役員人事について

①会長退任の件

退任予定日 令和5年6月13日

(退任)三重交通グループホールディングス(株)
代表取締役社長 原 恭 氏

②理事交代の件

交代日 令和4年6月24日

(退任)昭和四日市石油(株) 代表取締役社長
前澤 浩 氏

(新任)昭和四日市石油(株)
代表取締役社長 横村 雅 氏

交代日 令和4年7月1日

(退任)西日本電信電話(株)三重支店 三重支店長
杉本 渉 氏

(新任)西日本電信電話(株)三重支店 三重支店長
佐藤 麻希 氏

交代日 令和5年3月31日

(退任)光精工(株) 代表取締役会長
西村 憲一 氏

(新任)光精工(株) 代表取締役社長
西村 昌能 氏

交代日 令和5年4月1日

(退任)東邦ガス(株) 三重地域支配人
佐宗 利幸 氏

(新任)東邦ガス(株) 三重地域支配人
川口 哲也 氏

(退任)(株)トーエネック三重支店 執行役員三重支店長
伊藤 公一 氏

(新任)(株)トーエネック三重支店 執行役員三重支店長
松山 孝臣 氏

(退任)本田技研工業(株)鈴鹿製作所 鈴鹿製作所長
森本 務 氏

(新任)本田技研工業(株)鈴鹿製作所 鈴鹿製作所長
小今井 晃 氏

(退任)マツオカ建機(株) 代表取締役会長
松岡 美江子 氏

(新任)マツオカ建機(株) 代表取締役社長
松岡 賢 氏

③理事退任の件

退任日 令和4年11月14日

(退任)松阪ハム(株) 代表取締役社長 矢倉 正任 氏

退任日 令和5年3月31日

(退任)(株)デンソー大安製作所 所長 滝 文隆 氏

3. 協議事項

(1)役員推薦(案)について

(2)役員候補者選任(案)について

(3)令和4年度事業報告(案)及び収支決算(案)の承認について

(4)令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認について

上記4件の協議事項については、満場一致で承認を得ましたので、5月の会長・副会長会議に諮り、6月の会員総会に提案をさせていただくことになりました。

事業活動報告

▶三重労使雇用支援機構

高齢者雇用に関する事業所向けセミナー、再就職支援セミナー

▶障がい者雇用ステップアップ推進運動贈呈式

▶三重県「産・福・学」障がい者雇用情報交流会

▶内定者向け講習会

▶採用担当者情報交換会～三重県「産・学」就職情報交流会～

▶令和4年女性懇話会

▶第23・第24期労務管理改善協力委員会

▶令和4年度階層別研修

▶新入社員フォロー研修

▶(オンデマンド・Webセミナー)

パワーハラスメントの実務対応

人事労務トラブル対応講座 第1弾

人事労務トラブル対応講座 第2弾

2023年版 経営労働政策特別委員会報告 説明動画

▶中部経協三県連携事業 2022年度セミナー一覧

▶第14回三重経協海外経済・労働事情視察団

▶第68回・69回三重労使会議

▶会員状況

4. その他・連絡事項

令和5年度会員総会日程報告

以上

特別講演会

ママアナウンサーになって — 妊娠、出産育児の奮闘記 —

最初「仕事と育児の両立」というテーマをいただきましたが、両立などはとても出来ていないと痛感している今の私のありのままの気持ちをお話させていただきます。

私は「Mie ライブ」というニュース番組の水曜日MCとロケ番組や子供向け番組などアナウンサー本来の業務の他、特集番組の取材、撮影、編集、テロップ作成と、放送に関わる多くのことを受け持ち、これは地方局だからこそと、逆にやりがいを感じて仕事をさせていただいております。

鈴鹿市で生まれ、東京の大学を卒業して、香川と岡山をエリアとする瀬戸内海テレビに入社し、結婚と離婚を経て、地元に戻った後2014年に三重テレビに再就職し、職場のフリーランスのカメラマンと30歳の時再婚をしました。お互いの仕事が理解できるので、1年間はそれぞれの仕事を中心に生活を楽しみました。結婚2年目31歳で同年代に子供を持つ人が増え、互いに「子供が欲しい」との思いが一致し、不妊治療を経て、2021年に出産、1年間の育休が終わり、保育園に子供を預けてフルタイムで職場に復帰し、今2年目に入ったところです。

まず、不妊治療についてですが、三重県では国、県、経営者協会、連合、医師会など6者で「不妊治療と仕事の両立支援に関する連携協定」を2019年に全国に先駆けて締結し、官民の支援の体制は出来つつありますが、それだけでは十分とは言えません。

私の場合、妊活を始めて半年が経過してもその兆候が無いので、津市内の不妊治療専門医を受診したのは申し込んで1ヶ月後の2020年2月20日のことでした。不妊治療は2人で受診するのが基本で、簡単な検査と説明の初診費用は保険適用外なので30,000円を超え、夫婦の財布からお金をかき集めて支払ったことを今も覚えています。その後進む治療は自然に近い「タイミング法」から始め、それでも妊娠しない時には人工受精に進みます。人工受精にも卵子を受精させそのまま女性の体内に戻す方法と、受精した卵子を体外で培養してから体内に戻す方法とがあります。「人工受精」は、

三重テレビ放送株式会社
アナウンサー
北村 実穂 氏



講演する北村アナウンサー

肉体的、精神的、経済的な負担が大きく、途中であきらめるご夫婦もあります。

私達の場合、検査では異常が無く、まず排卵誘発剤の黄体ホルモンの接種を続けて確率を向上させるタイミング法治療の後、最終的に卵管が詰まっていることが分ったため、体外受精によることになり、6月第2週に2回の採卵、移植、その準備の通院の為、6月初旬から午後の半日出社にする必要があり、この時、職場の上司に初めて状況を報告し了解を得、勤務ローテーションを組みました。

出口の見えない不安の中、手術は順調に進み2週間後に妊娠が確認されました。医師に恵まれ、1回で成功できたのは奇跡のようなことだったと思います。この間の費用は当時保険適用外だったので、1回の体外受精が約50万円、検査を含めると合計88万円でした。県から30万円、市から15万円の助成があり更にコロナ禍ということから特別支援が5万円、計50万円の支援があり自己負担は38万円でした。2022年4月保険適用され3割負担となると、それでも26万円から27万円の自己負担となります。私は1回で済みましたが2回、3回となる方も多そうです。現在14人に1人が体外受精で生まれています。そして96%の人が治療と仕事の両立は難しいと答えています。不妊治療のため休職や転職をした女性は40%、5人に1人は退職を余儀なくされています。職場の相談窓口がもっと増え、休暇制度が充実し事態が改善されればと思います。



講演風景

妊娠中はコロナに感染した場合の後遺症の不安を抱え、2021年3月の出産も面会制限が厳しく、勿論マスクも離せない非日常の中でした。しかし、退院後は父母の住む鈴鹿市に転居し、1年の育休後フルタイムを選択して職場復帰、同部署のメンバーと同様に、週2回の深夜11時までの勤務と同じく週2回の土日のニュース読みの担当が決まりました。勤務の間、子供は保育園に預けましたが、入園後1か月でコロナの為1週間休園し、園児から頻りに風邪をもらういわゆる「保育園の洗礼」も受け、問題が次々に起きましたが、職場の協力と父母や夫のサポートで乗り切り、昨秋頃にはそんな環境に慣れてきた感じになってきました。

しかし、今年の冬は大寒波に見舞われ、常に家族の誰かが体調不良となり、私自身がコロナに感染して全体のバランスが大きく崩れ、家族全体が限界を迎える状態になったのです。免疫が落ちた私は声がガラガラになり、仕事への悩みも深まり、継続が不可能だと思えるほど追い込まれました。ついに今年1月末、上司や育児経験のある先輩社員に相談し、その助言で社内の育児制度をフルに活用することになり、深夜・早朝勤務を外れ、残業も基本的に無くなり、シフトが緩和され、朝夕の1時間の余裕が心の余裕につながり、すべてがうまく回り始めました。会社や上司に相談することは重要です。子育て支援の事例を県内各社に広げていければいいと思います。取材で伺った井村屋さんの「共働」の社風等各社に支えあう仕組みがあると思いますがもっと大きな社会全体の支える体制が出来ればと思います。

今年4月「子ども家庭庁」が発足しました。私は児童手当の拡充、出産などの経済負担の軽減、高等教育費の負担軽減など子育て負担の減少に期待をしています。

日ごろの活動の中では「防災」と「文化」に力を入れています。激甚化する自然災害が不可避な中の備えを日ごろから十分していただきたいと思います。そして三重の文化の継承と発信が私たちのアイデンティティとなり、それが移住や子育て、観光振興につながってくるのではと思います。

最後にアナウンサーとして皆様に私が大切にしている「歩いたあとに一輪の花を咲かせたい」「年中夢求」「向き不向きより前向きに」の言葉のおすそ分けを致します。

これからも、今は出来ていない仕事の両立を実現し、悩む人への助言をし、仕事を通じて社会貢献をしたいと思っています。ありがとうございました。

(文責：事務局)



質問する参加者

令和5年度会長・副会長会議

5月11日(木)「はな房」において、令和5年度会長・副会長会議を開催しました。

6月13日(火)に開催する会員総会を前に、4月21日(金)の理事会で承認された協議事項を再度ご確認いただきました。理事会時では見込みでありました収支につきましては、4月28日(金)に会計監査をしていただき、確定した為、収支の差異についても説明を行いました。



会長・副会長会議風景

令和5年度会員総会

6月13日(火) プラザ洞津「高砂の間」にて令和5年度会員総会を開催し、総会は会員企業70名、特別講演には75名の方にご出席いただきました。



挨拶する原会長

1. 会長挨拶

本日は大変ご多用のところ、また、コロナ禍の中、会員の皆様方には多数ご出席いただき、誠にありがとうございます。また、会員の皆様には平素から当協会の事業運営につきまして、格別のご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、政府は5月の月例経済報告で国内の景気判断は緩やかに回復している」とし、「一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している」としておりました4月の判断から上方修正しました。景気判断で「回復」とするのはコロナ禍前の2020年2月以来です。また、感染症法上の「5類」への移行も踏まえ、今まで使っていた「ウイズコロナの下で」という表現も削除され、社会のフェーズは本格的にコロナ後に進んだと感じています。苦戦していた外食やサービス関連の復調やインバウンド需要が回復してきたことで先行きに対して明るいムードが広がっています。

しかし一方では、依然として物価高の状況が続き、ウクライナ情勢も停滞、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクとなっています。私たち企業にとってはコロナ不況で隠れていた「人手不足」や先送りになっていました「人財の確保」が経済正常化に伴い最大の課題となってくると思います。

今年の春季労使交渉について日本商工会議所が5月31日に発表した中小企業調査によりますと賃上げを実施した企業の理由で最も多かったのは「人材確保・定着やモチベーション向上」で、複数回答とはいうものの約8割以上(85%)という高い数値でした。経営側の苦労を察することができる結果だと思えます。

2019年4月より段階的に実施されてきました「働き方改革関連法」に関しまして、本年度は月60時間を超える時間外労働に対して50%以上の割増賃金率適用の対象範囲が中小企業へ拡大されました。また、育児・介護休業法改正に伴い従業員数が1,000人を超える企業には育児休業取得の状況を年1回公表することが義務付けられまし

た。そのほか、専門人財の就職活動の日程ルールの見直しに加え、外国人技能実習制度を廃止し新制度を創設する方針が示されるなど、人事、労務関連について対応すべき事案が増加しています。当協会としましても会員の皆様に迅速で的確な情報提供や人事労務業務のスキル向上につながるセミナーなどの開催を行ってまいります。

さて、本日の会員総会では、報告事項として役員の変動の件、協議事項として、本年が役員改選期となっていることに伴う役員選任、令和4年度事業報告及び収支決算の承認、令和5年度事業計画及び収支予算の承認についてご審議いただきます。

令和5年度の新たな取り組みとして、階層別研修や労務問題など日頃の事業遂行に密接に関連する約1200本の動画をオンデマンドで会員企業の皆様に無料配信する事業「三重経協ビデオアーカイブス」(MVA)を計画しております。その他、新しい技術の活用や既存の方法を組み合わせるなど、工夫しながら進めてまいりたいと考えております。



総会風景

総会終了後に当協会の副会長であり、国立大学法人三重大学学長の伊藤 正明様より「未来を拓く地域共創大学をめざして」と題して特別講演会を予定しております。改めてお願い申し上げますが、当協会の基盤強化には会員の拡大が不可欠であります。会員の皆様方には引き続き、新規会員のご推薦やご紹介を賜りますよう、この場をお借りしてお願い申し上げます。

最後に、今後とも皆様方の心強いご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げます。はなはだ簡単ではございますが冒頭のご挨拶とさせていただきます。

2. 報告事項

・役員人事について

- ① 会長退任の件
- ② 理事交代の件
- ③ 理事退任の件
- ④ 顧問就任の件

3. 協議事項

・第1号議案 役員選任(案)について

1. 各役員は次の通りとする。 令和5年7月1日現在

役員名	会社名・職名	氏名
会長	三重交通グループホールディングス(株) 代表取締役会長	小倉 敏秀
副会長	日本トランスシティ(株) 取締役	小川 謙
〃	三重交通コミュニティ(株) 代表取締役社長	川村 則之
〃	伊藤印刷(株) 代表取締役専務	伊藤 恵子
〃	中外医薬生産(株) 代表取締役会長	田山 雅敏
〃	シンフォニアテクノロジー(株)伊勢製作所 伊勢製作所副製作所長兼総務部長	木本 啓輔
〃	国立大学法人三重大学 学長	伊藤 正明
〃	長島観光開発(株) 代表取締役社長	舟橋 純
専務理事	三重県経営者協会 専務理事	西場 康弘
理事	(株)赤福 代表取締役社長	濱田 勝子
〃	旭ダイヤモンド工業(株)三重工場 代表取締役専務生産本部長兼三重工場長	原 智彦
〃	(株)一号館 取締役会長	佐藤 純
〃	井村屋グループ(株) 代表取締役会長	中島 伸子
〃	上野ガス(株) 取締役専務執行役員総務部長	杉本 安司
〃	岡三証券(株) 岡三みえ証券カンパニー長 常務執行役員	末野 隆司
〃	(株)おやつカンパニー 代表取締役社長	手島 文雄
〃	カネソウ(株) 取締役相談役	近藤 健治
〃	キオクシア(株)四日市工場 常務執行役員四日市工場長	松下 智治
〃	(株)ぎゅーとら 代表取締役社長	清水 秀隆
〃	近畿日本鉄道(株)名古屋統括部 執行役員鉄道本部名古屋統括部長	大内 敬弘
〃	(株)近鉄百貨店四日市店 四日市店長	山本 勝徳
〃	(株)近鉄・都ホテルズ都ホテル四日市 総支配人	村瀬 恵美
〃	近鉄レジャーサービス(株) 取締役社長	中根 博文
〃	桑名三重信用金庫 会長	中澤 康哉
〃	三交不動産(株) 代表取締役社長	中村 充孝
〃	(株)三十三銀行 取締役会長	岩間 弘
〃	昭和四日市石油(株) 代表取締役社長	横村 雅
〃	住友電装(株) 代表取締役執行役員社長	漆畑 憲一
〃	大東自動車(株) 代表取締役	加藤 光一
〃	(株)タカキタ 代表取締役社長	松本 充生
〃	中部電力(株)尾鷲三田工事所 所長	桑原 直弘
〃	中部電力パワーグリッド(株)三重支社 執行役員三重支社長	速水 敏浩

役員名	会社名・職名	氏名
理事	東海労務経営管理センター 代表	松田 和泉
〃	東邦ガス(株) 三重地域支配人	川口 哲也
〃	(株)トーエネック三重支店 執行役員三重支店長	松山 孝臣
〃	西日本電信電話(株)三重支店 三重支店長	佐藤 麻希
〃	日本通運(株)三重支店 支店長	守田 英司
〃	パイロットインキ(株)津工場 津工場長	服部 哲也
〃	光精工(株) 代表取締役社長	西村 昌能
〃	(株)百五銀行 取締役会長	伊藤 歳恭
〃	富士フィルムマニュファクチャリング(株)鈴鹿事業所 執行役員鈴鹿事業所長	葛西 克郎
〃	富士電機(株)食品流通事業本部三重工場 総務部長	元木 禎史
〃	本田技研工業(株)鈴鹿製作所 鈴鹿製作所長	小今井 晃
〃	マツオカ建機(株) 代表取締役社長	松岡 賢
〃	(株)松阪鉄工所 取締役社長	加藤 賢治
〃	三重県農業協同組合中央会 代表理事会長	谷口 俊二
〃	三重工業(株) 代表取締役社長	栗須百合香
〃	(株)ミエスレート 代表取締役	和田山久司
〃	三重テレビ放送(株) 代表取締役社長	山口 貢
〃	三重トヨタ自動車(株) 代表取締役社長	竹林 憲明
〃	三重トヨペット(株) 代表取締役会長	川喜田 久
〃	(株)安永 代表取締役社長	安永 暁俊
監事	今村・倉田会計事務所 所長	今村 元宣
〃	日本板硝子(株)四日市事業所 事業所長	松井 正廣

2. 任期は、令和5年度会員総会(6月13日)～令和7年度会員総会までの2年間とする。

・第2号議案 令和4年度事業報告(案)及び収支決算(案)について

・第3号議案 令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

上記3件の協議事項については、満場一致で原案どおり承認されました。

4. 小倉敏秀新会長挨拶



以上 挨拶する小倉新会長

令和5年度 役員一覧

(敬称略)

会長 小倉敏秀(新任)

(三重交通グループホールディングス株式会社 代表取締役会長)

副会長 小川 謙

(日本トランスシティ株式会社 取締役)

副会長 川村 則之

(三重交通コミュニティ株式会社 代表取締役社長)

副会長 伊藤 恵子

(伊藤印刷株式会社 代表取締役専務)

副会長 田山 雅敏

(中外医薬生産株式会社 代表取締役会長)

副会長 木本 啓輔

(シンフォニアテクノロジー株式会社 伊勢製作所副製作所長兼総務部長)

副会長 伊藤 正明

(国立大学法人三重大学 学長)

副会長 舟橋 純

(長島観光開発株式会社 代表取締役社長)

専務理事 西場 康弘

(三重県経営者協会)

令和5年7月1日現在

特別講演

未来を拓く
地域共創大学をめざして

三重大学学長に就任して2年余りになりますが、非常に強い焦りを感じています。なぜかと言いますと、三重大学は全国の大学に比べ“周回遅れ”の現状だからです。現在大学病院を持つ地域大学は28大学あり、それぞれの研究や活動について他校に比べどんな特色があり、そのレベルはどうかという点で評価され、それに苦戦しております。三重大学のアクティビティを急速に上げなければならず、三重県人の積極性にかける気風を大学も津市出身の私自身も、克服していく必要があるとも思っています。

三重大学は5学部と6研究科を中心に学生・職員が総勢約1万人、全国的には中規模の大学で、学部入学者の43%が三重出身、愛知県が30%で約80%を東海地区が占め、就職先は県内が1/3、愛知をはじめ東海地区で70%を占め、これらの数字から三重大学の立ち位置は、三重ファーストの東海地区の大学であると言えます。少子化の関係により、大学入学の18歳人口も減少傾向にあり、2022年を基準に2050年には30%減り、三重県は更に49.8%になる見込みです。文科省は2004年から6年を1期として期を区切りますが、2023年は第4期の2年目にあたりその10年後の2033年には18歳人口は10%減少する見込みです。よって文科省から10%の定員削減、第6期の終わりにはまたその10%の削減の要求がかかるであろうと予想しています。そして三重県の人口の減少の見込みは全国平均より更に減っていく中、その減少をカバーするために外国人の導入、リカレント教育を含めた18歳人口に頼らない体制の構築が必要となり、今後はダウンサイジングのビジョンをどう描くかを考えていくのが重要になります。そこで、三重大学が目指すべき将来像を明確にする基



講演風景

国立大学法人
三重大学 学長
伊藤 正明 氏

講演する伊藤学長

本理念を一般の高校生にも理解しやすいように、「地域に根ざし、世界に誇れる教育・研究に取り組み、人と自然の共創に向けて切磋琢磨する」とし、この基本理念のもと、昨年末に基本理念の実現のために「三重大学ビジョン2030」を掲げ、教育、研究、社会貢献、医療、そして組織はどうあるべきかという5点にまとめました。

まず「教育」の面では、考える力、感じる力、コミュニケーションの力に加え、行動する力の4つの力を引き出す教育を目指し、地域創造教育センターを作り地域産業界や自治体と協力し地域創造の為の人材を育成し、学生の海外派遣を積極的に行い、地域教育、インターンシップのプログラムを開発実施します。私は「国力は教育にある」と思っています。モチベーションの高い人材が教育面でも必要で総合入試を2年後にスタート致します。医学部では地域枠を40名ほど設け、東紀州、伊賀、志摩に割り当てますが、地域医療に関するモチベーションの高い人材を教育するのは、さらに工夫が必要で地域にリーダーとなる人材がいないこともその要因の一つです。リーダーとなる人材の育成も必要となります。地域の活性化に寄与する大学にする為これらのことを少しずつでも進めていきます。

また行動力とリーダーシップを発揮しながら周囲の人々と共同で出来る人材だと認める三重創生ファンタジスタの資格制度も実施、これは各方面で活用されています。地域イノベーション学研究科では地域企業との共同研究を通じ基礎研究能力とともにマネジメント能力の向上も図ります。経営者層社会人博士の制度についても(有) ぬびやさんなど好事例が増えてきております。

「研究」が最も大学の役割の大切なものの一つですが、地方大学であっても世界のトップレベルの研究者が必要で、現在工学部を中心に頑張っている分野があります。電池研究の今西教授やLED研究の三宅教授が外部資金も獲得され後進の指導にも成果をあげられております。10兆円の基金の3%を研究費用に配分する「国際卓越研究大学構想」制度が始まっていますが、地方大学にも特色ある研究をする大学に5年間で50億円の研究費が配分されます。比較的厳しい環境にある弘前大学のヘルス・サイエンスの分野での採用、

また島根大学や富山大学は魅力ある地方大学の創出という点から定員増が認められました。ChatGPT で三重大学の特色ある学部は何かと聞いただけると練習船を持ち、水産研究所のある「水産学部」があり、「医学部」もかなりレベルは高いものの、採用には至っていません。

「社会貢献」は地域の大学には必要で三重大学は伊賀、東紀州、北勢、伊勢志摩に4つのサテライトを持ち、昨年「みえの未来共創会議」を設け、四日市でカーボンニュートラルへの産業転換、御浜町でのデジタルフォーメーション基盤整備、伊勢神宮など神事・産業用大麻プロジェクト、そして、医療DXを推進し、PHRを個人がスマホで閲覧できる状態を実現していきたいと思えます。

「教育」の中で、リカレント教育センターではレディメードプログラムとオーダーメイドプログラムを提供し成果を上げたいと思えます。更に地域との関連で重要なのは防災・減災センターを推進していきます。

「医療」に関しては、県下最大の病床を持つ附属病院があり、小児がん拠点病院などを備え、先端医療提供をし、更に県下の病院に多くの医師を医学部から派遣し緊密に連携しています。大学病院では、地域で最初にやる治療、一番難しい治療、一番人手のかかる

治療を実施し、私の専門の循環器内科でも最先端医療を行いその使命を果たしています。三重県は、麻酔科医、救急医、助産婦の数は全国最少レベルで、これらの解消とともに総合医の育成も急務で、地域枠入学者制度を創設し125名の定員のうち、東紀州等の地域から自治体長、病院長の推薦で2人に1名くらい入学させ充実を図ります。

最後に「組織」に関し、環境問題に関してISO14001取得を既に取得し、環境SDGs方針を策定公表し、先進大学として取り組んでいますが一番苦慮しているのがダイバーシティーです。2030年までに女性教員を24%以上にするなど、7つの数値目標を立ててこの問題に取り組んでいます。最後に、三重県に新しい大学を作ろうという動きがあり、これらに協力するのが我々の大きな責務であると考えており、学内でも教育学部の定員を減らし、情報の定員を65名から100名に増やします。更に四日市と協力して40名の半導体デジタルコースを工学部に作り四日市で活動できるようにしたいと思います。

県内の各大学と連携し、地域の更なる発展に寄与していきたいと思えますので、三重大学に対する、ご要望をいただきますよう最後をお願い申し上げます。

(文責：事務局)

労務管理改善協力委員会(4月第1部会活動報告)

4月11日(火)プラザ洞津 3階「孔雀の間」において、労務管理改善協力委員会4月第1部会を開催し、31名の参加者でした。

早川労管第1部会長(三重交通(株))の挨拶に続いて野口 哲朗 氏による講演が行われました。今回は、以前より問題となっております入社3年以内の離職と、最近入社する新入社員等はZ世代で、更に新型コロナウイルス感染症により学校もWEBでの授業が多く、コミュニケーションも今まで以上に難しい世代となっています。近年の急激な少子高齢化に伴う労働力人口の減少により、企業においては人手不足がますます深刻となります。特に若者の人手不足については大きな問題となっており、既存の従業員の定着(特に若者)が重要となります。このような状況の中、新たな手法の対応として、丁寧な共通言語、共通認識を揃えていく(Z世代の価値観や好きなものに沿う)等についての説明をしていただきました。また、途中、何度か簡単なグループワークも取り入れ、各グループで活発な意見が交わされ有意義な部会となり、非常に参考となる内容でした。

◆プログラム

講演テーマ

「Z世代のモチベーション・マネジメント」

～入社3年以内の職場定着～

- ・ Z世代の背景
(中学、高校、大学などでどのような価値観を身につけてきたか)
- ・ 仕事やキャリアに対する考え方
- ・ Z世代の社員をやる気にする3つの方法
- ・ マネジメントする際に気をつけておきたいポイント

講師：自分デザイン株式会社 代表取締役 野口 哲朗 氏

(メンタル・モチベーター)



労管4月第1部会風景



挨拶する早川第1部会長



講演する野口講師

三重県経営者協会女性懇話会・三重県中小企業レディース中央会合同視察会

5月19日(金)に三重県経営者協会女性懇話会と三重県中小企業レディース中央会との合同視察会を開催し、当日の参加者は28名でありました。今回は、伊勢志摩のグルメや真珠のお土産のお買い物から食事まで楽しめる複合施設「鳥羽1番街」と鳥羽の海産物や農産物の産直市場である「鳥羽マルシェ」を視察しました。また、地元鳥羽で地域活性化に尽力している2人の女性経営者に講演をしていただきました。その後、講師を囲み昼食会を行い懇親を深めました。

内容は次の通りです。

(1)講演：「地域活性化に尽力する女性経営者」

講師：①有限会社珍海堂

代表取締役 水谷 伸子 氏

②鳥羽観光会館ビル株式会社

代表取締役社長 原田 佳代子 氏

(2)昼食懇談会

(3)施設見学



挨拶する伊藤代表



講演する水谷社長



講演する原田社長



鳥羽1番街集合写真

女性懇話会を津商工会議所女性会と合同開催



意見交換会風景

6月22日(木)に女性懇話会を津商工会議所女性会との合同で、津商工会議所1階「丸之内ホール」にて開催しました。参加者は33名でありました。

最初に幹事である女性懇話会副代表の金森副代表の挨拶の後、「中小企業経営における女性の活躍推進について」と題して、三重県副知事廣田 恵子 氏の講演が行われました。その後、廣田副知事を囲んで、参加者と意見交換会を行いました。

参加者から少子化対策・人口減少等の質問があり、質問に丁寧に分かりやすく答えていただきました。最後に津商工会議所女性会 松田会長より閉会の挨拶があり、盛会裡に終了しました。

内容については次の通りです。

内容

第1部

講演：「中小企業経営における女性の活躍推進について」

講師：三重県副知事 廣田 恵子 氏

第2部：廣田副知事を囲んでの意見交換会

その他：三重県からのお知らせ



開会挨拶をする金森副代表



講演する廣田副知事

労働保険実務講座

5月23日(火)にプラザ洞津 2階「桐の間」において、労働保険(労災保険・雇用保険)実務講座を開催しました。当日は12名の参加があり、特定社会保険労務士 小岩 広宣 氏(社会保険労務士法人ナデック 代表社員)から令和5年度の労働法改正で、中小企業の割増賃金の引上げ、賃金のデジタル通貨払いについて説明がありました。また、労災になる災害・ならない災害についてのケーススタディと最後に労働保険の年度更新の実務について説明されました。特に今年は令和4年10月、令和5年4月と連続で雇用保険料率の変更があり、例年になく年度更新の実務が複雑であり、実際に演習を行いました。



労働保険実務講座風景



講演する小岩講師

社会保険実務講座

6月27日(火)にプラザ洞津 2階「桐の間」において、社会保険(健康保険・厚生年金保険)実務講座を10名の参加者で開催しました。

特定社会保険労務士 小岩 広宣 氏(社会保険労務士法人ナデック 代表社員)から、社会保険調査の実態と企業防衛策について、最近の三重県内管轄年金事務所の調査実施について説明がありました。続いて、最近の法改正で、①社会保険の適用拡大、②短時間労働者に対する健康保険、厚生年金保険の適用拡大、③被保険者資格の勤務期間変更、④育児休業等期間中における社会保険料免除要件の改正、⑤賞与に係る報酬の取扱いについて説明があり、その後、後半は健康保険・厚生年金保険の定例事務である、算定基礎届と月額変更届を実際に演習しながら行いました。最後に社会保険実務で気をつけたいことのQ&Aのポイントが説明されました。



講演する小岩講師



社会保険実務講座風景

再就職支援セミナー

高齢者雇用に関する再就職支援セミナーを下記の内容で開催しました。
 ※令和5年度高齢者及び事業所向けセミナー事業として、三重労使雇用支援機構が三重県より受託し、セミナーを運営しております。

開催内容

日時及び開催場所	プログラム
6月26日(月) 13:30～16:00 三重県津庁舎 6階「大会議室」 参加人数：56名	第1部：「高齢者の再就職に必要な応募書類、面接対策、求められるスキルとは？」 講師：株式会社 O-GOE 代表取締役 杉山 豊氏 第2部 「高齢者雇用に取り組んでいる事業所による事例」 「製造業」伊藤印刷株式会社 「高齢者 生涯現役促進活躍に向けた就労関係事例集」 (三重県生涯現役促進地域連携事業作成) 講師：三重労使雇用支援機構 第3部：「個別相談会」 ハローワーク津・津市シルバー人材センター



講演する杉山講師



事業所による事例
(伊藤印刷)



再就職支援セミナー風景

三重経協ビデオアーカイブス(MVA)を 7月1日(土)より開設

社員研修ビデオの貸し出し事業をしている「三重経協ビデオライブラリー(MVL)」は当協会40周年(昭和61年)記念事業として発足し37年間継続してまいりました。

しかしながら近年はオンデマンドやeラーニングが普及し、各々がいつでも何処でもパソコンやスマホ、タブレットで簡単に視聴・研修できる時代となり、郵送によるMVLの利用頻度もほぼなくなりました。

当協会もこれに対応すべく既存のMVLを発展的解消し、教育用ビデオに力を入れているPHPと契約をし、今後は会員サービスの一環として三重経協全会員様に無料にてオンラインで研修できる三重経協ビデオアーカイブス(MVA)を開設致しました。

MVAではオンラインにて視聴できるシステムとして、会員企業の皆様の人財教育・研修ビデオとして提供してまいります。是非ともご活用・ご利用ください。

ログイン等の詳細につきましては郵送させていただきます。

利用期間 2023年7月1日から2024年6月30日まで

お問い合わせ先 三重県経営者協会 TEL 059-228-3557・3679

PHP VAプラスとは

PHPが提供している法人向け動画教材オンライン配信サービスで、PHPのDVD教材のほぼ全て(400タイトル、1,200本)を、管理サイトから配信いたします。その他、DVD配信以外でも

- ①マイページ機能 ②成功の心得一日一話 ③ビデオライブラリー ④音声コンテンツ ⑤人事お役立ち情報
 ⑥ビジネス書式データベース ⑦時事コラム ⑧松下幸之助に学ぶ成功塾 ⑨経営フォーラム
 のサービスもご利用いただけます。



暑中お見舞い
申し上げます。
2023

三重県経営者協会

- 会 長 小 倉 敏 秀
- 副 会 長 小 川 謙
- 副 会 長 川 村 則 之 子
- 副 会 長 伊 藤 恵 子
- 副 会 長 田 山 雅 敏
- 副 会 長 木 本 啓 輔
- 副 会 長 伊 藤 正 明
- 副 会 長 舟 橋 純

(50音順)

<p>株式会社 R&E コンサルタント</p> <p>経営コンサルタント (経営・労務・人材育成・地域活性化・成長戦略)</p> <p>代表取締役 小林 吉光</p>	<p>名産松阪肉 朝日屋</p> <p>代表取締役社長 香田 佳永 津市北丸之内20 TEL 059-226-2983</p>
<p>イメージ クリエイト 想像を創造する</p> <p>各種印刷からホームページなどのデジタル関連商品まで幅広いメディアに対応して、 皆様の情報発信のお手伝いをいたします。</p> <p>株式会社 アイブレーン</p> <p>TEL 0596-27-1111(代) 代表取締役 楠木 裕子</p>	<p>フィッシング遊・FLD </p> <p>アサヒレジャー株式会社</p> <p>代表取締役社長 上野 精一</p>
<p>株式会社 赤福</p> <p>代表取締役社長 濱田 勝子</p>	<p>アミカン株式会社 東洋工業株式会社</p> <p>代表取締役会長 伊藤 勘作</p>
<p>Asahi Language Academy 18ヶ国語(中部関東40拠点、オンライン講座 全国/世界配信)、企業内研修</p> <p>株式会社 アサヒ外語学院</p> <p>代表取締役社長 高木 暢子 ☎0120-86-8748</p>	<p>企業の障がい者雇用支援をします!</p> <p>株式会社アルファプランニング</p> <p>ワクスぺみえ </p> <p>営業担当 小木 曾政史 TEL 059-390-2005 <small>障がい者のテレワーク拠点</small> ワクスぺみえ</p>
<p>旭鍍金株式会社</p> <p>代表取締役社長 中山 敏 TEL 059-234-9555</p>	<p> 伊勢新聞社</p> <p>代表取締役社長 小林 千三</p>

 <p>伊勢赤十字病院 院長 楠田 司</p>	<p>岡三証券 株式会社 常務執行役員 末野 隆 司 岡三みえ証券カンパニー長 TEL 059-222-1818</p>
 <p>一 号 館 FOOD MARKET Ichigōkan 代表取締役 佐藤 洋一郎</p>	<p>冷凍／空調／電気 工事・メンテナンスなら 「地域密着!顧客満足度120%」の 有限会社 奥田冷機 取締役会長 奥田 幸 広</p>
<p>ISO27001情報管理国際認証取得  総合印刷・出版 伊藤印刷株式会社 代表取締役 伊藤 誠 司</p>	<p>株式会社 おやつカンパニー 代表取締役社長 手 島 文 雄</p>
<p>今村・倉田会計事務所 所長・税理士 今 村 元 宣</p>	<p>キオクシア株式会社 常務執行役員 四日市工場長 松下 智治</p>
<p>人を取り巻く全ての予防衛生を支援します 株式会社 イムテス 代表取締役 山 口 久 美</p>	<p> ふれあい・たいせつに きゅう-とら 代表取締役 清 水 秀 隆</p>
<p>おいしい!の笑顔をつくる 井村屋グループ 代表取締役会長(CEO) 中 島 伸 子</p>	<p>Shima Kanko Hotel 株式会社近鉄・都ホテルズ 志摩観光ホテル 執行役員総支配人 平 田 芳 久</p>
<p> O-GOE 株式会社 O-GOE 代表取締役 杉山 豊 TEL 059-361-0005</p>	<p>都ホテル 四日市 株式会社近鉄・都ホテルズ 総支配人 村瀬 恵美</p>
<p>創業39年 ～ありがとうございます～ ～まごころこめて～製造・物流サポートします  オーユーズ株式会社 代表取締役社長 木下 隆生</p>	<p> 農業屋 クラギ株式会社 代表取締役 竹 内 秀 樹</p>

栗田石油 株式会社

代表取締役 栗田 明

三交不動産株式会社

代表取締役社長 中村 充孝



学校法人

皇學館

皇學館大学・皇學館高等学校・皇學館中学校

理事長 小串 和夫

優良派遣事業者認定

株式会社 ジェントリー

代表取締役社長 伊藤 正憲

① プラザ洞津

公立学校共済組合津宿泊所

支配人 西尾 雅二

TEL: 059-227-3291

津から世界の海へ!

あなたと共に 夢と感動を創る造船所

JMU ジャパン マリンユナイテッド 株式会社

津事業所

常務執行役員 所長 朝戸 毅

御在所 GOZAI SHO ROPEWAY ロープウェイ

取締役社長 中村 俊行

響いてこそ技術 SINFONIA

シンフォニアテクノロジー株式会社

執行役員 伊勢製作所長 稲垣 努

令和5年7月19日 三交イン伊勢市駅前「別館」Grande開業
～東京・静岡・愛知・三重・京都・大阪に全15店舗～

株式会社 三交イン

SANCONI

取締役社長 村田 陽子



SUZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

鈴鹿医療科学大学

理事長 高木 純一

学長 豊田 長康

名阪関ドライブイン

三交興業株式会社

取締役社長 北角 亘

住友電装株式会社

代表取締役執行役員社長

漆畑 憲一

安全・安心・快適

株式会社 三交タクシー

代表取締役社長 橋本 明雄

南部自動車学校グループ

共感警備の

(株)セフティージャパン

代表取締役社長 加藤 有翔

株式会社三交ドライビングスクール

四日市自動車学校

名四自動車学校

取締役社長 橋本 明雄

株式会社 ZTV

取締役社長 田村 欣也

<p>人の心に、街のまん中に、明るさをずっと。</p>  <p>株式会社 扇 港 電 機 代表取締役社長 横 山 大 幸</p>	<p>ナガシマリゾート 長島観光開発株式会社 取締役社長 舟 橋 純</p>
<p>医薬のチカラで、笑顔を。</p>  <p>中外医薬生産株式会社 代表取締役会長 田 山 雅 敏</p>	<p>中辻医科器械株式会社 代表取締役 三 宅 努</p>
<p>感激・感動・成長をキーワードに 100年企業を目指す</p> <p>株式会社 中勢ゴム 代表取締役 稲 垣 進 也</p>	<p> NTT西日本 あしたへ—with you, with ICT. 三重支店長 佐 藤 麻 希</p>
<p>感動空間創造企業</p>  <p>株式会社 辻工務店 http://www.tsujikoumuten.co.jp 代表取締役社長 吉田 安寿</p>	<p>エネルギーのこと 環境のこと 一緒に考えてみませんか！</p>  <p>21世紀のエネルギーを考える会・みえ 会 長 小 林 長 久</p>
<p>未来へつなぐ津商工会議所～魅力あふれる津市へ!!</p>  <p>津商工会議所 会 頭 伊 藤 歳 恭</p>	<p>日本土建 株式会社 代表取締役社長 田 村 頼 一 TEL 059-229-5700</p>
<p>あした すてきに!</p>  <p>TOHO GAS 東邦ガス株式会社 三重地域支配人 川 口 哲 也</p>	<p>物流と人のハーモニー</p>  <p>TRANCY 日本トランスシティ株式会社 取締役 小 川 謙</p>
<p>快適以上を、世の中へ。 中部電力グループ</p> <p>TOENEC 株式会社 トーエネック 執行役員三重支店長 松 山 孝 臣</p>	<p>ネットトヨタ三重株式会社 代表取締役社長 平野真也</p>
<p> 湯めぐり海百景 鳥羽シーサイドホテル 代表取締役社長 藪 本 竜 太 郎</p>	<p>野村證券株式会社 津支店 支店長 後藤 健太郎 いまから、ずっと。 人生100年パートナー。</p>

<p>パーソルテンプスタッフ株式会社</p> <p>代表取締役社長 木村 和成 TEL:059-213-7800</p>	<p>三重県観光開発株式会社</p> <p>取締役社長 鳥居 正彦</p>
<p>人と企業を誠意で結びます</p> <p> パソピア</p> <p>株式会社 パソピア 代表取締役 中田 将司 TEL 059-213-6733</p>	<p>がんばる企業を応援します。</p> <p> 三重県信用保証協会</p> <p>会長 稲垣 清文</p>
<p>はな房</p> <p>料亭・和れすとらん http://www.mie-hanafusa.co.jp</p>	<p> 三重交通株式会社</p> <p>代表取締役社長 田端 英明</p>
<p> 松阪カントリークラブ</p> <p>代表取締役社長 田島 誉之 TEL:0598-29-2911</p>	<p>安全で快適な暮らしをサポート</p> <p> 三重交通コミュニティ株式会社</p> <p>取締役社長 川村 則之 TEL:059-253-4051</p>
<p>ものづくりに携わり、100年</p> <p>MCC CORPORATION 株式会社 松阪鉄工所</p> <p>代表取締役社長 加藤 賢治</p>	<p> 三重交通商事株式会社</p> <p>代表取締役社長 豊永 久</p>
<p>三重いすゞ自動車株式会社</p> <p>代表取締役社長 西田 義明</p>	<p>三重の力を世界へ 世界から三重へ 未来を拓く 地域共創大学</p> <p>国立大学法人  三重大学</p> <p>学長 伊藤 正明</p>
<p>〈昭35.10.開場〉</p> <p> 株式会社 三重カントリークラブ</p> <p>取締役社長 尾張 雅史</p>	<p>三重テレビ放送株式会社</p> <p>代表取締役社長 山口 貢 TEL:059-226-1133</p>
<p>「三重から世界へ」!! 信頼される製品づくりに努めています。</p> <p>三重金属工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 西村 圭司</p>	<p>三重トヨタ自動車株式会社 代表取締役社長 竹林 憲明</p> <p>TOYOTOWN </p>



三重トヨペット株式会社

Be the First.

代表取締役会長 川喜田 久
代表取締役社長 井上 喜晴
TEL 059-227-7171(代表)

消防防災で安全安心を創る

株式会社 **山口商会**

取締役会長 山口 久彦

名阪近鉄バス株式会社

取締役社長 谷口 弘幸

観光バス営業部三重支店
TEL:059-346-1722

社会と企業が求める人材を育成する

学校法人
暁学園

四日市大学

理事長 喜岡 涉
学長 岩崎 恭典

安田小児科内科

病児・病後児・預り保育「ミー」併設

理事長 安田 尚樹
TEL:0598-28-8828



電設資材 FA機器 省力化設備機械

菱工産業株式会社

RYOUKOU SANGYO CO.,LTD

代表取締役社長 今村 太一
TEL 059-228-9339 FAX 059-228-9379



株式会社 安永

Yasunaga

代表取締役社長 安永 暁俊

三重県経営者協会

職員一同



電子申請を利用すれば、
24時間、会社や自宅から
労働保険関係等の手続きができます。



労働保険に関する申請や届出について、書面での手続きではなく、「電子申請」を使うことで、労働局、労働基準監督署、ハローワークに出向くことなく、インターネットを経由して手続きができます。

個人の場合は「マイナンバーカード」、法人の場合は「GビズID」を利用して電子申請を行うことができます。

事前準備については、厚生労働省ホームページの「労働保険関係手続の電子申請にかかる基本的な流れ」にて、事前準備ガイドbookをダウンロードすることにより確認できます。

また、厚生労働省ホームページの「労働保険関係手続の電子申請について」を検索すると、「労働保険の電子申請説明動画」として、①初期設定編、②年度更新申告書の作成、提出編などの動画を掲載しており、動画で確認できますのでぜひご覧ください。

厚生労働省では、事業主の方から提出される労働保険関係の各種届出等の電子申請の利用を促進するため、電子申請未利用事業場アドバイザー事業として事業主の方から「電子申請をしたいが、初期設定の方法が分からないので教えてほしい。」というご要望をもとに、事業場にお伺いさせていただいたり、オンラインでの対応で、電子申請を開始するために必要となる初期設定をお手伝いする事業を実施しています。

また、今後、労働保険の電子申請に関するオンラインセミナーも開催予定です。

事業の概要は厚生労働省ホームページの「電子申請未利用事業場アドバイザー事業について」にて掲載しておりますのでご確認ください、ぜひお申し込みください。

※ 電子申請に関するお問い合わせは、三重労働局労働保険徴収室
(電子申請担当)へ



◎労働保険に関するお問合せ先

三重労働局総務部労働保険徴収室 ☎: 059-226-2100
又は、最寄りの労働基準監督署へお問い合わせ下さい。

CAC

Chubu Atomic Conference

考えよう!

エネルギーのこと

環境のこと



原子力や放射線利用のための
知識の普及・教育支援に努めています

中部原子力懇談会 三重支部

支部長 竹林 武一

事務局 〒514-0033 津市丸之内 29 番 14 号 津商工会議所内

TEL 059-228-5677 FAX 059-228-5682

Eメール cacmie@za.ztv.ne.jp

参加無料

令和5年度三重県「産・福・学」障がい者雇用 情報交流会のご案内

三重県「産・福・学」障がい者雇用情報交流会は、障がい者が地元で働き、いきっていくために、企業の人事労務担当者（産）と就労支援事業所の担当者（福）、特別支援学校の進路担当者（学）が交流を深め、人と人のネットワークづくりや障がい者雇用につなげることを目的として、平成27年度から継続して開催しています。

日時 令和5年8月25日（金）13：30～16：00（受付開始13：00）

会場 三重県庁講堂 津市広明町13

定員 企業24名、就労支援事業所8名先着
（企業の方は業種に関わらずご参加いただけます。）

内容 ・講演会施設外就労「M.I.Eモデル」 社会福祉法人維雅幸育会
・グループディスカッション
・フリートーク

参加無料

ステップアップマルシェのご案内

障害者雇用支援月間（9月）の取組として、県民や企業が働く障がい者を身近に感じられるよう、県内の障がい者が働くカフェの物販や、障がい者雇用に積極的に取り組む企業展示を行い、もって県民や企業の障がい者雇用の理解促進を図る目的です。

日時 令和5年9月16日（土）10：00～15：00

会場 イオンタウン津城山（1階） 森の広場
津市久居小野辺町1130-7

内容 巨大スクリーンを活用して、参加団体や展示企業の紹介するスライドショーをループ再生

※詳細につきましては、当協会のホームページをご参照下さい。



事務局に新しい仲間ができました

田中 俊充（事務局長）

7月より、本格的に着任いたしました。

前職とは職務内容が、ガラリと変わりました。これまでの経験がどこまで生かせるかわかりませんので、一からのスタートと思い、取り組んで参ります。協会活動発展のため、会員の皆さんへのサービス向上のため、精一杯頑張りますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

～失業なき労働移動の実現をめざす 再就職・出向の専門機関～

雇用調整等のニーズのある **1** 企業様（送出）と
雇い入れご希望の **2** 企業様（受入）との間で
人材マッチングサービスを**無料**で提供しています。



 公益財団法人 産業雇用安定センター 三重事務所

TEL 059-225-5449 FAX 059-221-6197

www.sangyokoyo.or.jp/



業務日誌
2023.4.6

事業名	とき	ところ
労務管理改善協力委員会 第1部会	4/11(火)	プラザ洞津
令和5年度理事会・特別講演会	4/21(金)	プラザ洞津
令和5年度監事会	4/28(金)	はな房
令和5年度会長・副会長会議	5/11(木)	はな房
三重県経営者協会女性懇話会・三重県中小企業レディース中央会合同視察会	5/19(金)	鳥羽1番街・鳥羽マルシェ
労働保険実務講座	5/23(火)	プラザ洞津
令和5年度会員総会・特別講演	6/13(火)	プラザ洞津
三重県経営者協会女性懇話会・津商工会議所女性会合同開催	6/22(木)	津商工会議所
令和5年度 三重県受託事業 高齢者及び事業所向けセミナー事業 再就職支援セミナー	6/26(月)	三重県津庁舎
社会保険実務講座	6/27(火)	プラザ洞津



三重県経営者協会

TEL 059-228-3557

FAX 059-228-3710

ホームページ

http://miekeikyo.jp

E-mail

info@miekeikyo.jp

2023年7月25日 発行
発行人／三重県経営者協会

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1森永三重ビル3F